

市北部の市営住宅 建て替えについて

大膳原・下大垣・稗田岩ノ上

稗田石田・中ノ崎住宅

山崎市議には市営住宅について、さまざまな要望が寄せられています。建て替えが計画されている住宅のみなさんからは、「建て替えが始まるのはいつ？」などの質問も寄せられています。

【山崎】「平戸市公営住宅等長寿命化計画」によれば、市北部地区の建て替えが計画されています。

【建設部長】 下大垣・稗田岩ノ上・稗田石田・中ノ崎の4つは「計画」では、2017年度からの建設でしたが、見直しで2019年度からとしています。

4つの住宅は維持管理面から集約します。来年度から用地の選定を行う予定です。

大膳原・下大垣・稗田岩ノ上・稗田石田・中ノ崎の5つの市営住宅です。進捗状況は。

大膳原住宅の平家は、来年度から建設の予定です。

したが、見直しで2024年度からになります。現地での建てかえです。

【山崎】建て替え時期や家賃がどうなるのかなど、住民のみなさんは心配しています。お知らせするべきでは。

【建設部長】「計画」見直し中で、完全確定ではありませんので、住民には知らせていません。

鞍掛山太陽光発電と 下流域の防災対策

住民の声が市を動かす

【山崎】太陽光発電。私の地元（上大垣）、鞍掛山の森林伐採は昨年8月に始まりました。伐採が始まった直後から何度も足を運び、住民のみなさんの話を聞き、住民説明会にも毎回参加し、市議会でも毎回質問してきました。

【産業振興部長】側溝の土砂堆積に注意を払い、常に排水できる状況を整えます。既存の排水路が法面の土砂で埋まらないよう、のり尻に土のうを置くなどの指示を県と行っています。

しかし、大雨対策などが最優先にもかかわらず、いまだに調整池や側



上大垣の太陽光発電

溝が完成していません。市と県の対策はどうですか。

昨年12月の住民説明会で、市から皿川の改修を3年計画で行うとの説明がありました。6月12日の住民説明会では、市道大垣鞍掛線の側溝整備を行うとの説明がありました。どちらも以前からの

地方議員研修会に参加

第32回市町村議会議員研修会 in 福岡

2015年5月18日～19日 福岡国際会議場



山崎市議は、福岡市で行われた研修会に参加し、全国の自治体のさまざまな取り組みや国保税などについて、学びました。

松浦市の安江ゆう子市議（共産・写真左）はじめ、多くの議員が参加していました。

もちろん、山崎市議は政務活動費を使わず、自費での参加です。

住民の強い要望でした。繰り返し行われた住民説明会にみなさんが、粘り強く出席して、要望した成果だ、と思います。整備は間違いなく行いますか。

【建設部長】皿川は今年度から3年で約400mを整備します。側溝の整備は緊急性の高い順に整備します。

イノシシ対策 について

イノシシ捕獲チームを作るにも、狩猟免許を持つ人がいなければなりません。しかし、免許を取るときの費用が負担になります。わな免許は5万円、銃・わな免許は9万円かかります。交通費な

ども必要です。徳島県勝浦町では10万円の補助を行って、免許取得者を増やしています。平戸市の補助は1万円余り。山崎市議は増額を求めましたが、「狩猟登録税の軽減措置の周知を図る」という答弁でした。引き続き、補助の増額を求めています。